

- ただいま整理作業中！甕塚古墳③ . . . P1～2
- 歴史文書館企画展・歴史学習会開催情報 . . . P3
- 旧見付学校で消防訓練をおこないます . . . P4
- コラム『伝酒井の太鼓の新発見』神谷英雄 . . . P4

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和5年1月4日発行

ただいま整理作業中！ 甕塚古墳③



今回の特集は、文化財だより第184号と200号で紹介した甕塚古墳（岩井）の整理作業の第3弾です。全国的に見ても重要な甕塚古墳の報告書の完成・公表を目的とし、令和元年度から継続して整理作業をおこなっています。その作業の一部を紹介します。



第184号



第200号

甕塚古墳とは

- ① 6世紀初め頃、県内で最も早く横穴式石室（※1）が設けられた直径約26mの円墳で、市内で唯一石棺が見つっている。
 - ② 石室内と墳丘から、須恵器という硬い土器や土師器という素焼きの土器が多量に出土していて、その形もバラエティーに富む。
 - ③ 古墳の上から円筒埴輪の列や埴輪棺（円筒埴輪を棺に転用したもの）が出土したほか、石室内からも60点以上の埴輪が出土している。石室内から多数の埴輪が出土した例は全国的にも非常に珍しい。
 - ④ 石室内から甲冑や武器・馬具（※2）など、多量の金属製品が出土している。鉄製の馬具などの一部は、金銅装（鉄製の本体に銅が貼られ、金メッキが施されている）。
- 以上のことから、当時の静岡県西部で最も有力な首長の墓と考えられます。

（※1）横から穴を掘って造る石室 （※2）馬につける器具



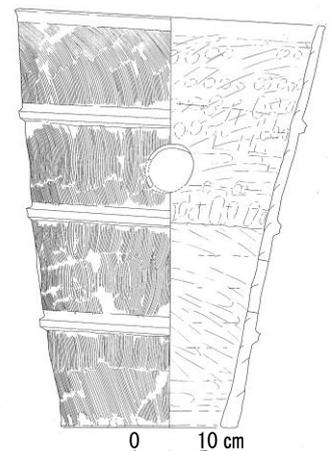
甕塚古墳の石室と石棺（昭和34年）



甕塚古墳がある場所とその周囲は民有地です。見学はご遠慮ください。

埴輪の実測図の作成

今年度、埴輪65点について、専門機関に委託して実測図を作成しています。大きさや形だけでなく、作り方を観察しながら手書きの図を作成します。表面や内面の様子、断面で粘土の積み方がわかるものは、その様子も描き入れます。高さが1m近いものもあり、1個体の図化に1週間位かかる場合もあります。手書き図の校正が終わると図の浄書（トレース）を行い、報告書に使う図ができます。



円筒埴輪とその実測図（トレースしたもの）

金属製品の保存処理

出土した金属製品は錆を取り除いたり、劣化が進まないように専門機関に委託して化学的な処理を施します。処理にあたっては、事前にX線写真を撮影して遺物の状況を把握し、その後に錆をとるクリーニングを行います。作業にあたっては、遺物自体を壊さないように、顕微鏡で見ながら慎重におこないます。

クリーニングが終わると、錆の発生を抑えるために薬剤に浸けたり、樹脂で金属製品自体を強化します。その後、破片を接合したり欠損部分を補填する作業をおこないます。

小札の実測作業

甕塚古墳からは約 1,500 点の金属製品が出土しています。その半分は、小札という鉄製の甲の部品です。長さ5～6cm、幅2cm、厚さ1.5ミリほどのものが多いですが、中には長さ約15cmで湾曲した形の「腰札」とよばれる形のものもあります。また、数枚が重なり、甲として使われたときの様子がわかるものもあります。

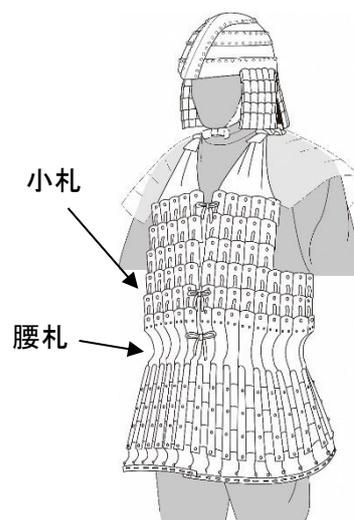
現在これらのうち、全体の半分以上が残っている300点あまりについて、専門家の指導を受けながら実測作業をおこなっています。実測は、1点ずつ表面と裏面の平面図、縦と横の断面図を作成します。小札には紐を通した孔があいているため、保存処理段階で撮影したレントゲン写真を見ながら、孔の位置や大きさを図化していきます。



クリーニング作業の様子
写真提供：静岡文化財研究所



薬剤に浸けた状態の小札
写真提供：静岡文化財研究所

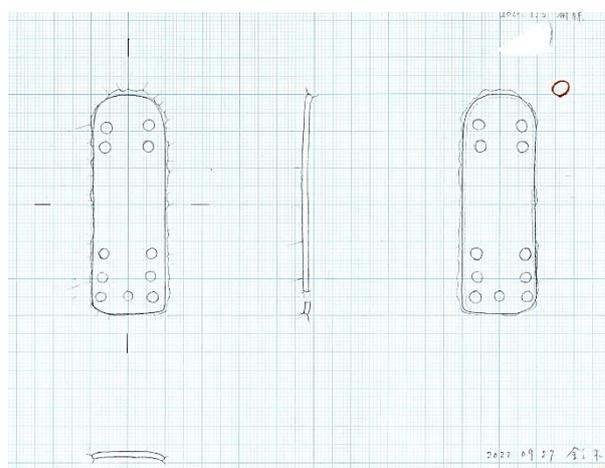


古墳時代（後期）の甲のイメージ

図提供：（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団



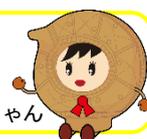
小札の実測作業



小札の実測図（方眼紙に鉛筆で描いたもの）

来年度も、引き続き金属製品の保存処理や実測などを予定しています。
文化財だよりなどでお伝えしますのでお楽しみ！

文化財課イメージキャラクターともちゃん



歴史文書館企画展・歴史学習会開催情報

徳川家康をテーマにした歴史文書館企画展と、歴史学習会を開催します。また、期間中には、昨年新たに磐田市指定文化財に加わった「成瀬家文書」の特別公開日もあります。ぜひ、ご来場ください。

(企画展のみどころは右の二次元バーコードからご覧いただけます。)



企画展みどころ
(だより第213号)

第26回企画展

『中泉御殿にて 家康、泰平の世づくりを練る ～徳川家康と磐田～』

今回の企画展は、NHK大河ドラマ「どうする家康」の放映に合わせ、中泉にあった徳川家康ゆかりの「御殿」がテーマです。「中泉御殿」の実態を、歴史資料や発掘調査の成果から明らかにしていきます。

<歴史文書館>

期間：令和5年1月16日(月)～3月10日(金)

市指定文化財特別公開日 2月11日(土)、23日(木・祝)、3月5日(日)

開館時間：8時30分～17時(入館は16時30分まで) **入場無料**

休館日：土曜日・日曜日・祝日(2月11日(土)、23日(木・祝)、3月5日(日)は開館)

会場：磐田市歴史文書館展示室ほか(磐田市竜洋支所内)

特別公開日には、磐田市指定文化財に指定された「成瀬家文書」のうち、「伝馬朱印状」「徳川奉行衆連署状」など、家康が定めた宿駅制度に関わる文書を公開します。

<中央図書館>

期間：令和5年3月29日(水)～4月9日(日)

開館時間：9時～18時(土日は17時まで) **入場無料**

休館日：月曜日休館

会場：磐田市立中央図書館展示室

歴史文書館イメージキャラクター
文字朗(もんじろう)



歴史学習会「中泉御殿と徳川家康」

当日は市指定文化財の
原本もご覧いただけます

中泉御殿について、歴史資料やこれまでの発掘調査成果からわかりやすく解説していただきます。

開催日：令和5年3月5日(日)

開催時間：午後1時30分から午後3時まで(午後1時開場) **入場無料**

開催場所：磐田市竜洋支所2階会議室

申込み：1月18日(水)～2月13日(月)

電子申請にて(右二次元バーコードをご利用ください)

定員：60名(申込み多数の場合抽選)

講師：加藤理文氏(公益財団法人日本城郭協会理事)

その他：当日は1日開館しています。



歴史学習会申込み
二次元バーコード

問合せ先 磐田市歴史文書館 TEL0538-66-9112

3/4 いわた文化財だより 第214号



文化財防火デーにともない 旧見付学校で消防訓練をおこないます

1月26日の文化財防火デーにともない、旧見付学校にて消防署と合同の消防訓練を実施します。

つきましては、近隣の皆様、来館者の皆様には交通規制などご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

前回（令和2年度）消防訓練の様子

- 日時 令和5年1月29日（日）
9時00分～11時30分（交通規制時間）
※訓練時間 10時～11時
- 場所 旧見付学校（磐田市見付 2452）
- 交通規制 旧見付学校南側駐車場と周辺道路
（右地図赤線道路部分）
※交通規制中の来館は見付駐車場をご利用ください
- 問合せ 旧見付学校 TEL:0538-32-4511



職員リレー コラム

伝酒井の太鼓の新発見

神谷 英雄

徳川四天王の一人、酒井忠次が三方ヶ原の戦いの折に家康の窮地を救ったと伝えられる太鼓で、縁あって現在は旧見付学校に展示されています。

昨年、山形県鶴岡市にある致道博物館で「酒井忠次」展が開催され、展示品として貸し出しをしました。そのご縁で学芸員の方から山形で発見された、以下の新たな史実を教えてくださいました。

嘉永2年（1849）に酒井家11代・忠^{ただあき}発が将軍の名代として京都へ上洛する際、お供した庄内藩士が浜松に来た時の道中記に「家康公が浜松城に在城の頃、酒井忠次公が太鼓を打ったことが思い出された。今も太鼓は残っているようだ。」と太鼓のことが記されていました。

太鼓の伝承の真偽についてはわかりませんが、これにより江戸時代末には酒井家の藩士の間で酒井の太鼓の話が伝わっていたこと、また太鼓が浜松城にあったことが分かりました。

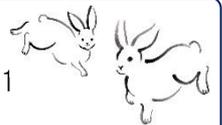
今年の大河ドラマは「どうする家康」です。家康公にゆかりのある酒井の太鼓に色々なご縁というものを感じた出来事でした。



市指定文化財「伝酒井の太鼓」

編	あけましておめでとうございます。いよいよ、待ちに待った大河ドラマがはじまります！どのように徳川家康が描かれるのか、
集	
後	磐田は舞台になるのか？楽しみです。
記	

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課（磐田市埋蔵文化財センター）
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699



◆WEB版は市HPから閲覧できます。磐田 文化財だより 検索